



# 住宅コンクリート用 浸透性吸水防止塗料

## 高耐久

吸水防止

防かび

透湿

防藻

水性シリコン・フッ素系浸透性吸水防止塗料



# 水性シリコン浸透ガード



Basic & New  
NIPPON PAINT

(社)日本塗料工業会登録

ホルムアルデヒド  
放散等級 F☆☆☆☆

# 劣化した 住宅コンクリートを 見事に甦よみがえらせてます。

ふくれ・はがれの心配がありません。

遮水効果および超薄膜化により、ふくれなどが生じません。

吸水防止効果にすぐれています。

住宅基礎部・モルタルコンクリート生地部・  
コンクリートブロックなどの表面に吸水防止効果を付与します。

透湿性があります。

水蒸気透湿性にきわめてすぐれるため、結露から建物を守ります。

中性化防止に効果があります。

シリコン・フッ素の保護膜を形成するので基礎部などの  
中性化防止に効果を発揮します。

水性です。

水性塗料ですから取り扱いが安全で、環境にやさしい塗料です。

防藻・防かび力があります。

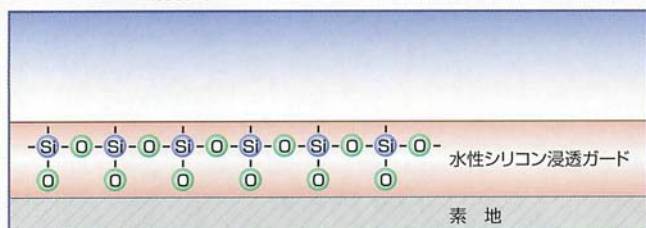
藻やかびによるコンクリートブロックなどの汚れを抑えます。



## 水性シリコン浸透ガード4つの技と効果

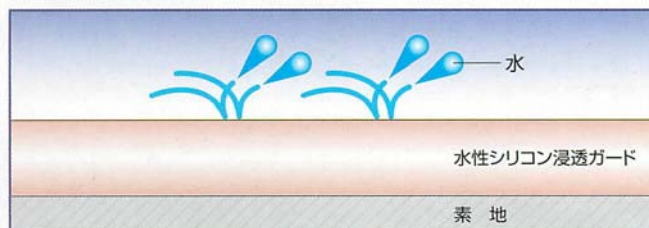
### シロキサン結合

Si=珪素 O=酸素



シロキサン結合により風化した素地と一体化し強固に密着。

### 吸水防止



吸水防止効果により水分の浸透を防ぎます。

**標準色** 右記色以外に「透明」があります。

※この色見本は印刷のため、実際の色調とは多少異なります。



ライトグレー



モルタルグレー

**水性シリコン浸透ガード仕上がり例**

**ガレージ壁**



塗装前



水性シリコン・フッ素系浸透性吸水防止塗料材  
ニッペ **水性シリコン浸透ガード**



ライトグレー塗装後

**住宅基礎**



塗装前



水性シリコン・フッ素系浸透性吸水防止塗料材  
ニッペ **水性シリコン浸透ガード**



ライトグレー塗装後

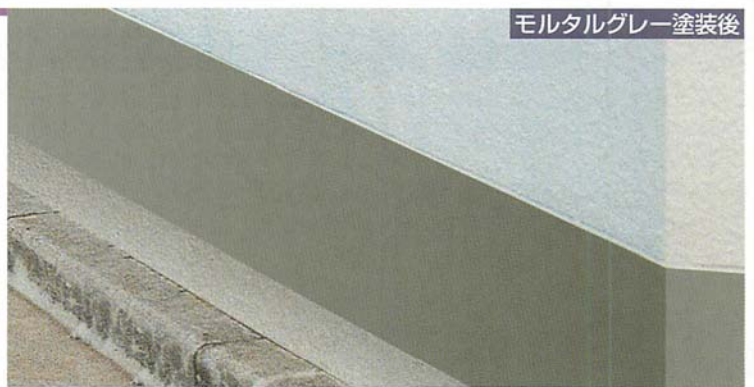
**住宅コンクリート壁**



塗装前



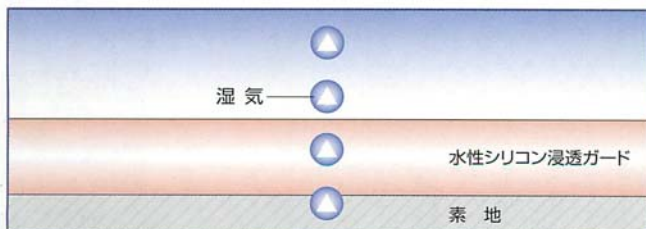
水性シリコン・フッ素系浸透性吸水防止塗料材  
ニッペ **水性シリコン浸透ガード**



モルタルグレー塗装後

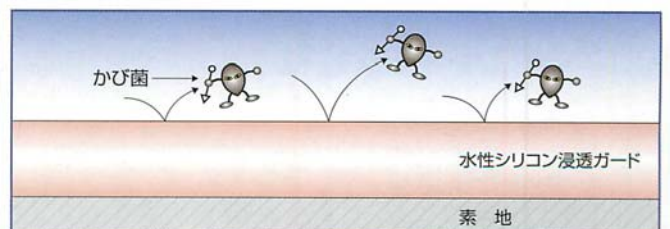
※仕上がり例は、下地補修をした後のイメージ図です。  
※床面は、床用塗料を塗装した後のイメージ図です。

**透湿**



透湿性が高いため結露から建物を守ります。

**防藻、防かび力**



バイオ技術により、かび・藻の発生を抑えます。

# ニッペ 水性シリコン浸透ガード

## 商品構成

●塗料名	●容量	●色相	●つや
●上塗り ニッペ水性シリコン浸透ガード	15kg	透明 モルタルグレー ライトグレー	つや消し

## 適用下地

- 住宅基礎コンクリート面
- 住宅コンクリート面
- コンクリートブロック面

## 標準塗装仕様

### ■住宅基礎コンクリート面・住宅コンクリート面・コンクリートブロック面など

塗装工程	塗料名	塗り回数	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥 時間(23℃)	希釈	塗装方法
下地調整	素地処理が必要な場合は、ワイヤブラシ、サンドペーパー、ウエスなどを使用して清掃してください。					
上塗り①	ニッペ水性シリコン浸透ガード	1	0.1~0.2	*1 8時間以内	無希釈	はけ・ローラー・ スプレー・エアレス
上塗り②	ニッペ水性シリコン浸透ガード	1	0.05~0.1	—	無希釈	

※1. 透明は「追っかけ塗装」をしてください。

※2. 上記の数値は、すべて標準の数値です。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りを確認してください。

## 施工上の要点

- ① 吸い込みにくい基材、板材(押し出し成型板、緻密なPC板、旧塗膜がある場合など)には塗装を避けてください。
- ② 透明の場合、塗り重ねは、1コート目は十分に塗付し2コート目は塗装ムラの修正、巣穴への押し込みを意識した追っかけ塗装をしてください。
- ③ 素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率10%以下、pH9以下)
- ④ 表面のごみ、ほこりなどは除去し、目ちがい、ジャンカなどがある場合正常面と同色になるように素地補修を行ってください。
- ⑤ 塗付前にかくはんし、使用後はよくふたをし、40℃以下の場所で貯蔵してください。
- ⑥ エフロレッセンスなど汚れの除去で素地の洗浄を行った場合、薬剤(酸、洗剤など)が残らないよう、後水洗は十分行い、乾燥した清浄な面にしてください。
- ⑦ さびじりなどがある場合は、サンドペーパーで除去してください。
- ⑧ 吸い込みやすい基材では塗付量が多くなります。
- ⑨ 藻やかびがひどい面は防藻・防かび塗料施工ガイドの殺菌工程に準じて処置をしてください。
- ⑩ 低温または、高湿度の時期は吸水防止性能の発現が遅くなる場合があります。
- ⑪ 水の溜まる箇所では膨れたりはがれたりする場合がありますので塗装は避けるようにしてください。

## 注意事項

- ① 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ② 外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ③ 塗装時、塗料の取り扱い時は十分に換気を行い、火気厳禁にしてください。
- ④ 吹付け施工の場合は、飛散防止のため養生を行ってください。

## 安全衛生上の注意事項

### ニッペ水性シリコン浸透ガード

・取り扱い中は下記の注意事項を守ってください。

#### ■取り扱いおよび貯蔵上の注意

1. 取り扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて、防塵マスク、保護手袋、前掛け、保護メガネ(ゴーグル)などを着用してください。
2. 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
3. よくふたをし、0℃~40℃の屋内で貯蔵してください。
4. 子供の手の届かないところに保管してください。
5. 本来の用途以外に使用しないでください。
6. 容器はつり上げないでください。  
やむを得ずつり上げる時には、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。  
(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)

#### ■緊急時および応急処置

1. 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着した時には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた時には、砂などを散布したのち処理してください。

■塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。

■容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持込むか、産廃処理業者に処理を依頼してください。

詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。 (F33)

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

※本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、

日本およびその他の国の登録商標または商標です。

※© Copyright 2004 NIPPON PAINT Co., Ltd All right reserved.

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●ISO14001を全事業所で認証取得。 ●このカタログは、再生紙を使用しています。



地球と語ろう  
ECO Action 21

カタログNo.  
NP-I009

KB060404T  
2004年4月現在